

科目名	声楽研究 I～IV [院]	形態	実技	開講期	春・秋
担当教員	実技担当教員	単位	2	年次	1, 2

＝授業科目の目標＝

学部での研究をさらに発展させ、発声法、呼吸法を習得する。音楽の様式の理解、楽譜の解釈等、深く音楽表現を研究する。

加えて音楽の社会貢献を認識し、音楽文化の発展向上に努めることが出来るようにする。

＝履修の条件と学習の方法＝

譜読み、曲目の解釈、詩の内容、単語の意味等の下調べを完全にし、伴奏者と合わせをしてから、ベストの体調で臨むこと。

個人レッスンにつき、欠席する場合は必ず各担当者、教員にその旨連絡すること。1学期間における出席日数が3分の2に満たない場合は出席不足による受験資格喪失とみなします。

＝授業内容＝

レッスンの進度に応じて各期 15 回（実技試験を含む）の指導を行う。

各学年ごとの授業内容は下記のとおりです。

（1年次）

- 1 期 個々の声楽研究の他に大学主催演奏会のオーディション挑戦者は、実力を十分に発揮出来るよう計画を立て試験に臨む。合格者は、さらに本番演奏を睨んで研究を深める。
- 2 期 個々の声楽研究と平行して「学内リサイタル」を今期開催する場合は、曲目選択、プログラミング等の計画を進め、本番に向けて研究を深める。

（2年次）

- 3 期 個々の声楽研究の他に大学主催の演奏会挑戦者は、実力を十分に発揮出来るよう計画を立て、試験に臨む。合格者はさらに本番演奏を睨んで研究を深める。
「学内リサイタル」修了者は「修士演奏」（演奏時間 30 分）プログラムを視野に入れた曲目の研究をスタートする。未修了者は「学内リサイタル」のプログラムを並行して研究する。
- 4 期 「修士演奏会」（演奏時間 30 分）プログラムの曲目提出に続き、その曲目解説を準備し、演奏内容をさらに深める。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

レッスンへの取り組みの姿勢・意欲・向上の度合い等を総合的に評価する。

＝その他＝

特になし